

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	独語第二		
英文授業科目名	Elementary German II		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	市岡 正適(学内連絡教官 坂本 真樹)		
居室	埼玉医科大学		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ichioka@saitama-med.ac.jp	

【主題および達成目標】
(a)主題：ドイツ語の特色の理解とドイツ語の基本の習得(2)(b)達成目標：時称や分離動詞などの文法事項に習熟し、簡単なドイツ語文を正しく理解できるようになる。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
独語第一

【教科書等】
教科書：市岡・原著『ドイツ語を読もう』（郁文堂）辞書：授業中に紹介する。

【授業内容とその進め方】
(a)授業内容：第1回(10月4日)：授業についてのガイダンス、発音第2回(10月18日)：文の構造の基本、主語と動詞の現在形第3回(10月25日)：名詞と冠詞第4回(11月1日)：話法の助動詞、前置詞第5回(11月8日)：動詞の3基本形(1)第6回(11月15日)：動詞の3基本形(2)第7回(11月29日)：過去第8回(12月6日)：現在完了(1)第9回(12月13日)：現在完了(2)第10回(12月20日)：再帰動詞第11回(1月17日)：分離動詞第12回(1月24日)：まとめの練習(1)第13回(1月31日)：まとめの練習(2)(b)授業の進め方解説によって文法事項を理解し、さらに、独文和訳の練習問題を、辞書をひきながら解いてもらいます。なお、小テストをできるだけ毎回行います。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：試験の成績の平均点(80%)+小テストの成績(20%)なお、出席状況を加味する場合があります。(b)評価基準：辞書を参照しながら、様々な文法事項を含む簡単なドイツ語文が読めることを、最低の合格レベルとします。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けませんが、質問等は電子メールで受け付けます。

【学生へのメッセージ】

文法の詳細を知ること、言葉の全体像をつかむことができます。ドイツ語の窓を大きく開きましょう。

【その他】